

# 愛称「ROUTE2020<sup>NTC</sup>トレセン通り」について

## 愛称設定の理由

東京都北区西が丘には、文部科学省が策定したスポーツ振興基本計画に基づき、我が国におけるトップレベル競技者の国際競技力強化を図るトレーニング施設として設置された国立のハイパフォーマンスセンター（味の素ナショナルトレーニングセンター及び国立スポーツ科学センター）があります。

北区は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、他自治体にはない地域特性を最大限に活かした施策を展開することで、区の活性化やイメージ向上を目指すとともに、「トップアスリート

のまち・北区」をアピールしています。

このような施策の主要事業として、味の素ナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センターのある西が丘から、JR赤羽駅及びJR十条駅に通じるルートについて、「ROUTE2020<sup>NTC</sup>トレセン通り」という愛称を命名しました。

愛称を付けることにより、赤羽駅周辺及び十条駅周辺の地域活性化につなげ、「トップアスリートのまち・北区」の拠点エリアとして、区内外に発信していきたいと考えています。



## 愛称決定までの経緯

平成26年3月～4月	愛称名の募集 イメージ戦略推進員及び区イメージ戦略東京家政大学生協力員、シニアプロモーション事業調査機関、赤羽商業高校の学生が応募
平成26年5月	庁内検討会において、78提案のうち3提案を選出。その後、JOCエリートアカデミー生(全国から選抜され、味の素ナショナルトレーニングセンターを生活拠点とし、日々練習に励むジュニア強化選手)に、アンケートを実施した。
平成26年6月	アンケートで最も好評だった愛称名「ROUTE2020 <sup>NTC</sup> トレセン通り」を候補名とした。
平成27年3月	「ROUTE2020 <sup>NTC</sup> トレセン通り」を正式な愛称名として設定した。
平成27年9月	「ROUTE2020 <sup>NTC</sup> トレセン通り」PRサインお披露目・PRイベントを実施した。

## この愛称について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の年である「2020」を強調するとともに、道路として馴染みのある表現である「ルートと数字」を合わせることで、全国唯一のトップレベル競技者の練習施設にふさわしい斬新で獨創性を感じるネーミングを意識しました。

また、起点の最寄駅となるJR赤羽駅及び十条駅から施設へ向かう選手が多く、多数の外国人選手も来場することから、英語を用いました。

愛称名の「トレセン」については、「味の素ナショナルトレーニングセンター」の略称として、地元に着定しており、また、愛称中にある北区のコミュニケーション・マークは、花いっぱい元気な北区を象徴するマークとして、「さくら」の花びらで「北区」のイニシャル「K」をデザインしたものです。

なお、「ROUTE2020<sup>NTC</sup>トレセン通り」の愛称は、味の素ナショナルトレーニングセンターのエリートアカデミー生から、「毎日通いながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を意識でき、東京2020大会へつながる道路の愛称としてふさわしい」など、高い評価を得ています。

## ROUTE2020<sup>NTC</sup>トレセン通りのルート

西が丘の味の素ナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センターとJR赤羽駅及びJR十条駅を結ぶルート



ROUTE 2020<sup>NTC</sup>トレセン通り  
Route 2020 Toresen-dori St.